

領 収 書

鈴木富美子様

印 紙

¥

	十	万	千	百	十	円
	¥	1	4	2	2	8

但し 10/12 ~ 10/13 分

上記の通り領収致します

平成 28 年 10 月 14 日



山形県長井市栄町3番10号
株式会社中央

代表取締役社長 目黒 憲夫
TEL 0238 (84) 2157
山形銀行長井支店(普) 0363774

安全と親切を
乗せて走る。

取扱者印



毎度有難うございます。今後とも御利用下さいますよう御願ひ申し上げます。

27.6 2×50×100冊

2016年10月13日 曜日

鈴木富美子様

領 収 証

¥9,396-

但し、御宿泊代として
有限会社 追分温泉 宮城県石巻市北上町女川大峯1番地
電話:0225-67-3209

担当者



*保管上のお願い
財布等で保管載く場合、印刷面を内側に折って保管願ひます。

領収証No 0637

領 収 証

鈴木富美子様

No. _____

★

¥5,400-

但

視察代として

2016年10月25日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

〒986-1313 宮城県石巻市雄勝町桑浜字藤城60

MORIUMIUS

TEL0225-25-6506 FAX0225-25-6890

領収証

長井市議会議員 鈴木 富美子 様

¥29,000—

但、第39回市町村議会議員研修会 in 東京(2017年2月6日・7日)受講料として 上記正に領収いたしました。
(受講者様ご氏名：鈴木 富美子 様)

2017年1月18日

株式会社自治体研究社

代表取締役 福島 讓

〒162-8512

東京都新宿区矢来町 123 矢来ビル 4階

電話番号 03-3235-5941

受付番号191

領 収 証

鈴木富美子様

28年9月30日

★

¥15,000

但 9/30 10:00~「質問のその後」

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人行政改革推進協会

〒103-0004

東京都中央区東日本橋2丁目28-4-2階

TEL 03 (6869) 1143

領収書

No.1

鈴木 富美子 様

金額

¥37,116

但 H28年4月~H29年3月 新聞代金として

29年 3月 28日
上記正に領収いたしました

〒 9 9 3 - 0 0 8 5
長井市高野町 1 - 2 - 2
株式会社内山新聞店
販売センター 長井
TEL 0238-88-2387
FAX 0238-88-5999

内 訳	円
税抜金額	円
消費税額 (%)	円

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

口座番号	0 0 1 5 0 8 1 9 6 5 0 0											
	加入者名 日本教育新聞社											
金額	千 百 十 万 千 百 十 円											
	3 2 4 0 0											
振込先	銀行											支店
おなまえ	489786											
ご依頼人	鈴木 富美子											
料 金	(消費税込み)											円
備 考												日 附 印

CVS 収納用収入印紙貼付欄

(お客様控)



(ゆうちょ銀行)

研 修 会 報 告 書

《あなたの質問を定期的に変える集中講座 in 東京》

◇研修月日 平成28年9月30日(金)

◇研修項目 本来の議員活動のために質問を有効に使う

◇研修報告

講師・・・医学博士・元寝屋川市議会議長 ■■■■■ 氏

内容・・・質問の準備として(1)自分の経歴を活かす(2)興味ある分野(3)緊急性ある分野の問題提起などから質問を作る。

質問のネタを探すことがなくなったら、国、都道府県のHPや担当者から入手する。メディア等からの情報収集など記者クラブなどを利用する。

質問の効果として・・・ただ単に執行機関の所信を質したり、事実関係を明らかにすることだけにとどまるものでは決してない。所信を質することによって、執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明らかにさせたり、結果としては、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的に効果がある。

今後の議員生活を充実させるたまにはだまだは勉強が必要だと思い知らされました。何事にも積極的に活動をしていきたいと強く思いました。

平成29年4月13日

長井市議会議員

鈴木富美子



長井市議会議長

渋谷佐輔様

研 修 会 報 告 書

《第39回市町村議会 議員研修会 in 東京》

◇研修月日 平成29年2月6日(月)～7日(火)

◇研修項目 3月議会を前に最新の政策課題を学ぶ

◇研修報告

講師・・・(1)静岡大学人文社会学部教授 ■■■ 氏
(2)山梨学院大学法学部 教授 ■■■ 氏
(3)奈良女子大学大学院人文文化研究科教授 ■■■ 氏

内容・・・(1)2017年度予算と自治体財政の焦点

2015年度より自治体に対して人口ビジョンと地方版総合戦略策定が義務付けられ、地方創生事業費は1兆円にもものぼっている一方、2016年度からは地方交付税トップランナー方式が導入され、成果主義への転換が進められている。そうした中で、2017年度の予算案と地方財政計画の課題について考える。

(2)「住民自治の根幹」としての議会を作動させる

政務活動費の不正受給への批判が高まり、議会の役割が問われている一方、議会基本条例が各地で制定され、議会改革・活性化の取り組みが進んできましたが、求められている議会改革やそれを住民福祉につなげる新たな動向を、全国各地の議会改革の事例をもとに考える。

(3)公共施設等総合管理計画の問題と公共施設のあり方

公共施設等総合管理計画をどのようによめばいいのか、どのように評価すべきかを考えながら、各地で進んでいる公共施設の統廃合の現状と問題点を考える。その上で人口減少、財政困難を踏まえ、これからの公共施設のあり方を考える。

各講座とも身動きが出来ないぐらい定員でいっぱいでした。各市町村の課題は同じですが、その市町村にあった政策を見つけることが、私たちの務めだと思います。それには、もっともっと議員間で討論する機会が欲しいと思います。

平成29年4月13日

長井市議会議員

鈴木 富美子



長井市議会議長

渋谷 佐輔 様

行政視察報告書

○視察月日 平成28年10月12日(水)～13日(木)

- 視察項目
- 1.企業訪問 (宮城県加美郡色麻町、栗原市高清水)
 - 2.体験型学習施設視察 (宮城県仙台市、石巻市)
 - 3.東日本大震災の復興の様子について (宮城県石巻市、北上市、女川町)

○視察報告

1.企業訪問

- ①宮城県加美郡色麻町「サンリット工業株式会社宮城工場」、
- ②栗原市高清水「豊田合成東日本株式会社」

- トヨタ自動車の製品製造現場を視察し、現場における生産手法、及び管理などにより、一般企業での利益を上げる工夫を学ぶ目的として視察をする。輸送コストを削減道路整備が整っている中、本社工場まで20分以内で製品を運搬できる範囲に工場を集約する等、あらゆるムダを無くしコスト削減に努めている様子が見えた。又、地元の人材を雇用し、地域の活性化にも貢献している。

2. 体験型学習施設視察

- ①宮城県仙台市「仙台子ども体験プラザ エリム」
- ②石巻市雄勝町「モリウミアス」

- 「仙台子ども体験プラザ-E l e m(エリム)」は、東日本大震災の被災地復興支援プロジェクト「カタルフレンド基金」による助成と協賛企業の協力のもと施設の中に街を再現した体験型の学習施設。事業内容として、小・中学校段階での仙台版キャリア教育「仙台自分づくり教育」のさらなる充実と推進を図るため、カタルフレンド基金での事業採択を受け、経済教育団体である「公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本」の教育プログラムを活用し、企業や市民と幅広く連携しながら、「スチューデントシティ・ファイナンスパーク事業」を実施している。小学生を対象とした「スチューデントシティ」は施設の中に、市役所・銀行・商店・新聞社等からなる実際に近い「街」を再現し、児童が商品の販売や営業を行ったり、消費者として計画的に物を買ったりするという活動を交互に体験するプログラム。働く側(労働)と買う側(消費)の両方の体験を通して、児童が社会の仕組みや経済の働きを理解するとともに、働くことの意義や仕事を通じて支え合っていることを学び、児童に望ましい勤労観や職業観を育てる。中学生を対象にした「ファイナンスパーク」は、スチューデントシティと同様に、施設の中に「街」を再現し、年齢・家族構成・年収等の与えられた条件の中で、一人の社会人として、1か月の生活設計を行うプログラム。税金、保険をはじめ、食費や家賃、光熱水費、物品の購入など、消費者として生活費計画を行うことを通して、望ましい金銭感覚や社会にあふれる情報を適切に選択収集し、判断する力、自らの生き方につながる生活設計力を育成し、その後の進路選択や将来設計につなげることを事業内容としている。スチューデントシティは学校で8時間の事前学習、スチューデントシティでの体験学習6時間、学校での事後学習が1時間となってい

る。各企業や保護者、地域のボランティアの協力を得ている。ファイナンスパークは学校での事前学習が5時間、ファイナンスパークでの体験学習が6時間、学校での事後学習が1時間となっている。施設利用経費は無料となっている。市教育委員会が申し込みの手配を行い、経費は教育委員会で負担している。県外・市外からの利用は基本的に受け付けはしていない。

- 「モリウミアス」は雄勝町にあり、2002年に築93年の旧桑浜小学校を廃校。廃校となった小学校を東日本大震災後、地域への復興の願いから、雄勝硯の屋根を持つこの場所をもう一度学び舎として、子供たちの探求心を刺激するような複合体験施設を建設。持続可能性という考え方にに基づき宿泊体験を大切にしている。食物は基本的に自給自足。畑や田・海などから、自分で採って調理をする。余った食物は家畜の餌にし、土にかえす。又、水をリサイクルして植物を育てたり、自然の循環を大切にする活動をしている。スタッフは雄勝町の住民をはじめ、旧桑浜小学校の卒業生・雄勝出身者、東京等からの移住者、ほかに日本の学校で英語を教えるJETプログラムの教師も国際交流の一環から参加する等、色々な環境の人々がいる。運営はNPO法人が行っている。長井小学校第一校舎の今後の活用について、「仙台子どもプラザ」と「モリウミアス」で実施しているキャリア教育や体験型学習は大変参考になったが、第一次産業もキャリア教育に必要ではないかと思う。又、モリウミアスの視察料金の高額さにはびっくりした。

3. 東日本大震災の復興について (宮城県石巻市、北上市、女川町)

- 北上市十三浜にある「復興まちづくり情報交流館」では、館長より震災時、震災直後の状況、現在の嵩上げ事業の進捗状況等について説明を受けた後、周辺を視察する。
- 石巻市北上町では、震災後の雇用促進を目的に作られたオランダ式次世代施設園芸「(株)デ・リーフ北上」を視察。再生可能なエネルギーを使用したトマトとパブリカの一貫生産と販売を業務内容としている。役員5名、社員5名、従業員34名、特に女性の従業員が多かった。
- 旧大川小学校を視察。その後、女川町「シーパルピア女川(駅前商店エリア)」を市職員より女川町の復興まちづくり事業について説明を受け、商店を視察。引き続き石巻市内を車中より視察し、公園高台で当時の状況や復興状況について説明を受けた。

平成29年4月13日

長井市議会議員 鈴木富美子



長井市議会議長

渋谷佐輔 様